

幼保小連携スタートプログラム

～「遊び」から「学び」へ
共に育む自主性と思いやり～



山形県教育委員会

幼保小連携スタートプログラム

～「遊び」から「学び」へ共に育む自主性と思いやり～

◇ はじめに	1
第1章 幼保小連携の意味・意義	
1 子どもの意識、成長を考えて	2～3
(1) 戸惑う子ども	
(2) 見えない子ども、見えて気づく子どもの危機	
2 幼保小一貫して育む「自主性」と「思いやり」	4～5
3 幼保小連携スタートプログラムでめざすこと	6～7
(1) 幼保小の円滑な連携に向けて大切にしたいこと	
(2) 接続期に留意していきたいこと	
第2章 幼児教育等に学ぶこと	
1 遊びの中で自主性と思いやりを育む	8～15
(1) 「遊び」を大切にされた保育	
① よく遊びよく遊べ	
② 「遊び」に見える幼児期の学び	
③ 遊びがもたらす価値	
(2) 自主性を育む	
① 地域の自然・くらしとかかわりの中で自主的に活動する幼児	
② 幼児の自主性を育む環境	
(3) 思いやりの心を育む	
① 思いやりを受ける体験が思いやりの芽を育む	
② 喧嘩しても仲直りできる子どもに	
2 子どもの成長を促す保育者の見取り～4つの目を持つ保育のプロであれ～	16～17
第3章 5歳児後期の教育	
1 幼児の「遊び」の中に見える「学び」の芽	18～21
(1) 「遊び」の中にある「学び」	
(2) 人との「かかわり」から学びの芽が育まれる	
(3) 幼児の知的好奇心が学びの芽を育む	
(4) 学びの芽を育む「保育者の役割」	
2 「共通の目的による協同的な活動」を大切にされた5歳児後期の教育	21～23
(1) 協同性が活動の質を高める～5歳児後期の「遊び」と学びの芽～	
(2) 共通の目的による協同的な活動を進める～プロジェクト型保育へ～	

3	5歳児後期のカリキュラム	24 ~ 25
	(1) 幼児教育等におけるカリキュラム	
	(2) 5歳児後期の指導計画	
◇	5歳児後期の実践事例	
	実践事例① レッツ チャレンジ	26 ~ 29
	～運動遊びから発表会へ～	
	実践事例② ぼくらのステージ「水の大冒険」	30 ~ 33
	～体験（米作り・水探検）から表現遊び、そして総合表現活動へ～	
	実践事例③ なぞなぞ野菜かるたをつくって遊ぼう	34 ~ 37
	～体験から伝えたい表現へ～	

第4章 小学校第1学年前期の教育

1	幼児教育等をつなぐ小学校教育	38 ~ 39
2	幼児教育等をつなぐ4つの工夫	40 ~ 49
	(1) 幼児教育等をつなぐ「教育観」	
	(2) 幼児教育等とのつながりに留意した「環境構成」	
	(3) 小学校第1学年「1学期」の学年（学級）経営カリキュラム	
	① 生活科を核にした合科的な単元を取り入れたカリキュラムづくり	
	② 小学校の学習や生活に適應していくための学習（わくわくドキドキタイム）	
	(4) 小学校スタート時の一日の学習と生活時間	
	① 幼保小の滑らかな移行は一日の生活から	
	② 子どもの実態に即した生活と学習	
3	小学校第1学年1学期のスタートカリキュラム（事例）	50 ~ 51
◇	生活科を核にした合科的な学習の実践事例	
	実践事例① 友達大好き 学校大好き	52 ~ 55
	～友達とのかかわりの中で自己実現できる子どもをめざして～	
	実践事例② 保育所のお友達と遊ぼう	56 ~ 59

第5章 接続期における特別支援教育

◇	はじめに ～特別支援教育をめぐる幼児教育機関等と小学校のギャップ～	60
1	幼児教育等における特別支援教育	61 ~ 65
	(1) 全職員で相談、研修しながら取り組む特別支援教育	
	① 障がいのある又は気になる幼児への共感的理解	
	～「困り感のある子どもを丁寧に見取っていく」全職員での子ども観の共有～	
	② 担任を孤立させない体制づくり	
	(2) 個別の指導計画を活用した取組 ～個に応じた手立てと実践、評価が次に生きる～	
	(3) 大切なパートナーである保護者との信頼関係を築く	

(4) 学級集団の中での個別の支援や配慮を行う	
2 就学時健診をスタートにした幼保小連携	66 ~ 75
(1) 小1プロブレムの正しい理解と入学前対応	
① 集団生活の適応に時間がかかる子ども	
② 発達障がいがあり特別な支援が必要な子ども	
(2) 就学時健診をスタートにした幼保との関係づくり	
(3) 小学校入学時における特別支援教育	
① 校内委員会で支援のあり方を検討する	
② 子どもの実態を把握し、個別の指導計画を作成する	
③ 個に応じた指導の実際（その1）	
④ 個別の指導計画を評価し、修正を加える	
⑤ 個に応じた指導の実際（その2）	

第6章 子どもの学びをつなぐ連携

1 様々な幼保小連携のあり方	76 ~ 77
2 様々な幼保小連携の実際	
(1) モデル1 一つの小学校に一つの機関から入学してくるケース	78 ~ 83
(2) モデル2 一つの小学校に決まった複数の機関から入学してくるケース	
(3) モデル3 一つの小学校に不特定多数の機関から入学してくるケース	

第7章 家庭・地域との連携及び教育行政の役割

1 保護者の理解を求め、円滑な連携を進めるための各機関の努力・工夫	84 ~ 86
(1) 保護者の心に響く校長の話	
(2) 保護者の教育への参画を意識した幼稚園経営	
(3) 保育所における保護者への支援	
2 幼保小連携を推進する教育行政	87
(1) 幼児教育等における指導・助言体制の整備	
(2) 幼保小連携に関する教員研修	
(3) 特別な支援を必要とする子ども等への対応	

◇ 参考資料

小学校学習指導要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針（関係箇所抜粋）	88 ~ 89
-----------------------------------	---------

◇ おわりに